

引き続き、静清バイパスは立体化・4車線化による交通容量の拡大を図ります。  
これにより、バイパスがスムーズになり利用者の方々が安全に走行できます。また、バイパスが市街地に用事がない車をさばくことによって、路線バスがスムーズになるなど市街地の道路にも広く効果を発揮します。

現在は、平成20年3月の供用目標である、昭府立体暫定2車線・八坂交差点～鳥坂IC間4車線化に向けて、工事を実施しています。

### 昭府立体

「昭府立体」は、静清バイパスの終点側に位置し、静岡市葵区昭府二丁目～静岡市葵区桜町一丁目間を結ぶL=1, 390mの区間で、平面交差点において渋滞が発生している箇所を高架構造に変更する計画です。

#### 期待される効果

- 立体化によって、平面交差点において発生している静清バイパスの渋滞解消が期待されます
- また、走行性が向上することで、交通安全や沿線の環境改善効果が期待されます

昭府地区現況写真



昭府立体完成予想図



### 八坂交差点～鳥坂IC

この区間は、静岡市街地と清水市街地を結ぶ区間で、本線交通量とIC利用交通量が多く、速度低下が起きています。

また、平行する国道1号現道では交通量が多く、飽和状態にあります。

#### 期待される効果

- 4車線化により交通容量を大きくし、静清バイパスの走行性向上を図ることで、地域の連携強化が期待されます
- 上り線と下り線が分離されることで、交通安全性の改善が期待されます
- 平行する国道1号現道から静清バイパスへ交通の転換が見込まれ、国道1号現道の交通環境改善が期待されます

